

## 第6回下関市景観賞 概要

### 1 趣旨

「下関市景観条例」に基づき、市民への景観まちづくりに対する関心の醸成、活動者の更なる意識高揚を図るため、「下関市景観賞」を実施。

### 2 募集対象

下関市内において、以下の要件をみたすもの

- ① 良好な景観を形成している民間の建築物、工作物
- ② 良好な景観を形成するための活動を行っている市民、事業者、団体等
- ③ 周囲の景観に調和している等の屋外広告物（看板）

### 3 募集方法及び応募件数

- 1) 募集期間：平成27年6月1日（月）（景観の日）～平成27年7月31日（金）
- 2) 募集広報：市ホームページ、市報6月号、ラジオ紹介
- 3) 応募件数：52件

### 4 選考

- 1) 選考者：下関市景観審議会デザイン委員会委員（9名）
- 2) 選考対象：17件（「募集対象」①及び②のみ。③は賞の対象外）
- 3) 選考方法：
  - ・ 書面審査（8月6日（木）～8月17日（月））  
選考対象についてデザイン委員会委員による書面審査を実施。  
各部門で得票数の多かったもの2件ずつを現地審査対象として選定。
  - ・ 現地審査（8月24日（月）9:00～14:00）  
対象4件について、デザイン委員会委員のうち6名が現地審査。
  - ・ 最終審査（8月24日（月）15:00～16:00）  
現地審査を踏まえ、デザイン委員会委員により、表彰物件2件を選出。

### 5 表彰

- 1) 日時：平成27年10月4日（日）（都市景観の日）11:00～
- 2) 場所：蛸遊苑 長府製作所記念館（長府侍町二丁目6番45号）
- 3) 参加者：受賞関係者6名、デザイン委員会委員2名、中尾市長以下  
下関市関係職員5名
- 4) 表彰部門
  - ・ 建築部門  
建築的、歴史的、文化的な価値があり、地域の景観を象徴する建築物、工作物等
  - ・ 景観を守り育てる活動部門  
地域の魅力を活かした景観を守り育てる活動や、景観まちづくりを推進する活動

### 受賞対象



#### 【建築部門】

#### 蛸遊苑 長府製作所記念館

（下関市長府侍町二丁目）

平成26年に(株)長府製作所の創立60周年を記念して建設され、会社や地域の歴史を紹介する展示スペースや、会議や催し物等を開催できるホール等を備えた施設です。城下町長府という地域に馴染んだ外観であるとともに、利用する方への配慮の感じられる機能性や利便性を備えている点が評価されました。

（受賞者：長府物産(株) 取締役社長 川上 康男 様）

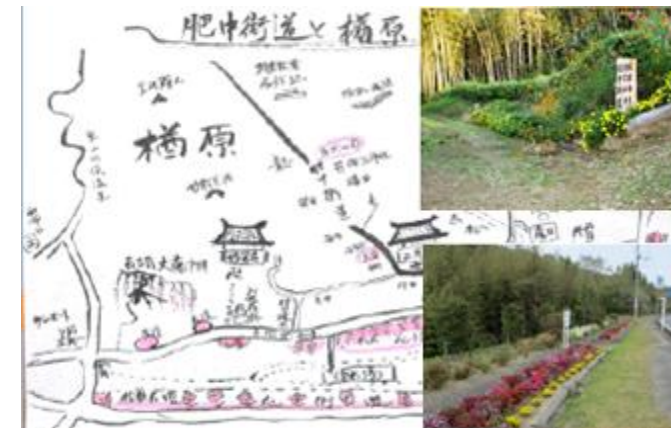
#### 【景観を守り育てる活動部門】

#### 檜原ゆうあい会

（下関市豊田町大字檜原）

地区内の幹線沿いの花壇管理や、室町時代の歴史的遺構や旧街道の保存・整備等を行う団体で、平成19年から活動を続けています。地域の自然や歴史を活かしたまちづくりを展開している点と、抱えている課題を明確に把握しながら、地道にかつ継続的に活動されている点が評価されました。

（受賞者：檜原ゆうあい会 様）



# 第7回下関市景観賞 概要

## 1 趣旨

「下関市景観条例」に基づき、市民への景観まちづくりに対する関心の醸成、活動者の更なる意識高揚を図るため、「下関市景観賞」を実施。

## 2 募集対象

下関市内において、以下の要件をみたすもの

- ① 良好な景観を形成している民間の建築物、工作物で、築造5年以内のもの
- ② 良好な景観を形成している自然環境、まちなみ
- ③ 良好な夜間景観を形成しているライトアップ施設、照明

## 3 募集方法及び応募件数

- 1) 募集期間：平成28年6月1日（水）（景観の日）～平成28年7月15日（金）
- 2) 募集広報：市ホームページ、市報6月号
- 3) 応募件数：48件

## 4 選考

- 1) 選考者：下関市景観審議会デザイン委員会委員（9名）
- 2) 選考対象：35件（「募集対象」①及び②のみ。③は賞の対象外）
- 3) 選考方法：
  - ・書面審査（7月26日（火）～8月19日（金））  
選考対象についてデザイン委員会委員による書面審査を実施。  
各部門で得票数の多かったもの（計5件）を現地審査対象として選定。
  - ・現地審査（9月26日（月）9:00～14:15）  
対象5件について、デザイン委員会委員のうち6名が現地審査。
  - ・最終審査（9月26日（月）14:25～15:40）  
現地審査を踏まえ、デザイン委員会委員により、表彰物件3件を選出。

## 5 表彰

- 1) 日時：平成28年11月1日（火）15:30～
- 2) 場所：下関市役所 市長応接室
- 3) 参加者：受賞関係者8名、デザイン委員会委員3名、中尾市長以下  
下関市関係職員6名
- 4) 表彰部門
  - ・風景・まちなみ部門  
地域固有の景観を活かした、質の高い魅力あふれる自然やまちなみ
  - ・建築部門（新築）  
築造5年以内で、建築的な価値があり、地域の景観を象徴する建築物、工作物等

### 受賞対象



#### 【風景・まちなみ部門】（美しい海岸の風景）

##### 室津の海岸

（下関市豊浦町大字室津下）

日本海に面した全長約2kmの湾の西側に位置する室津下地区が対象。漁業集落が横長に連なり、それらの前面にある砂浜等の海辺と後背地の小高い山々等を一体に捉えた景観が美しいという点が評価されました。

（受賞者：室津自治会連合会）

#### 【風景・まちなみ部門】（街道のまちなみ）

##### 赤岸通り

（下関市貴船町）

貴船町の旧街道（北浦街道）沿いで、往時のまちなみの名残として点在している店舗が今でも営業されているところから、地元の方が日々大切に守っておられることが窺えます。街道のまちなみが現代に残されているところが評価されました。

（受賞者：貴船町自治連合会）



#### 【建築部門（新築）】（特別賞）

##### 海の家（0邸）

（下関市富任町）

富任町の安岡海岸付近に建っている個人住宅で、砂浜に近接した土地に、所有者自身が設計に携わって建てられています。「海を身近に感じて生活したい」というコンセプトが存分に伝わってくる物件で、そのユニークさが評価されて、特別賞の受賞となっています。

（受賞者：大久保 誠）





## 第8回下関市景観賞 概要

### 1 趣旨

「下関市景観条例」に基づき、市民への景観まちづくりに対する関心の醸成、活動者の更なる意識高揚を図るため、「下関市景観賞」を実施。

### 2 募集対象

下関市内において、以下の要件をみたすもの

- ①良好な景観を形成している民間の建築物、工作物で、築造5年以上のもの
- ②良好な景観を形成するための活動を行っている市民、事業者、団体等

### 3 募集方法及び応募件数

- 1) 募集期間：平成29年6月1日（水）（景観の日）～平成29年7月14日（金）
- 2) 募集広報：市ホームページ、市報6月号
- 3) 応募件数：14件

### 4 選考

- 1) 選考者：下関市景観審議会デザイン委員会委員（10名）
- 2) 選考対象：13件（応募件数のうち、対象外を除いたもの）
- 3) 選考方法：
  - ・書面審査（8月3日（木）～8月18日（金））  
選考対象についてデザイン委員会委員による書面審査を実施。  
各部門で得票数の多かったもの（計3件）を現地審査対象として選定。
  - ・現地審査（9月20日（月）9:00～13:50）  
対象3件について、デザイン委員会委員のうち5名が現地審査。
  - ・最終審査（9月26日（月）14:00～15:05）  
現地審査を踏まえ、デザイン委員会委員のうち6名により、表彰物件2件を選出。

### 5 表彰

- 1) 日時：平成29年10月31日（火）16:00～
- 2) 場所：下関市役所 市長応接室
- 3) 参加者：受賞関係者2名、デザイン委員会委員2名、前田市長以下  
下関市関係職員6名
- 4) 表彰部門
  - ・建築部門（築造5年以上）  
築造5年以上で、建築的な価値があり、地域の景観を象徴する建築物、工作物等
  - ・活動部門  
地域固有の景観を活かした、質の高い魅力あふれる自然やまちなみ

### 受賞対象



#### 【建築部門】（奨励賞）

#### レストラン高津（蜂屋ビル）

（下関市岬之町13-7）

関門海峡が見える高台に位置し、高く積まれた石垣の上にある。

捕鯨産業で栄えてきた下関市の歴史を伝えるもので、外観の大部分が煉瓦積みで、全体的にシンプルだが、付柱、縦長の窓が整然と並び、柱頭飾りなどが特徴。

今年度、この歴史的建物がフレンチレストランとして利活用され、今後の展開を期待させるものであることが評価されました。

（受賞者：レストラン高津）

#### 【活動部門】（奨励賞）

#### 大河内の「Hana」環境を育てる会

（下関市豊田町大河内）

平成26年地主と交渉し竹林を整備し長さ100mの花壇づくりをスタートした。3年目を迎え、中山間集落への少しでも明るい話題づくりと、県道34号線沿いの大河内地区の環境美化をさらに進め、自然豊かな景観を育てる活動が評価されました。

（受賞者：大河内の「Hana」  
環境を育てる会）





# 第9回下関市景観賞 概要

## 1 趣旨

「下関市景観条例」に基づき、市民への景観まちづくりに対する関心の醸成、活動者の更なる意識高揚を図るため、「下関市景観賞」を実施。

## 2 募集対象

下関市内において、以下の要件をみたすもの

- ①良好な景観を形成している民間の建築物、工作物で、築造5年以上のもの
- ②良好な景観を形成するための活動を行っている市民、事業者、団体等

## 3 募集方法及び応募件数

- 1) 募集期間：平成30年6月1日（金）（景観の日）～平成30年7月13日（金）
- 2) 募集広報：市ホームページ、市報6月号
- 3) 応募件数：37件

## 4 選考

- 1) 選考者：下関市景観審議会デザイン委員会委員（10名）
- 2) 選考対象：26件（応募件数のうち、対象外を除いたもの）
- 3) 選考方法：
  - ・書面審査（8月9日（木）～8月20日（月））  
選考対象についてデザイン委員会委員による書面審査を実施。  
各部門で得票数の多かったもの（計4件）を現地審査対象として選定。
  - ・現地審査（9月12日（水）9:00～14:30）  
対象3件について、デザイン委員会委員のうち7名が現地審査。
  - ・最終審査（9月12日（水）14:50～15:50）  
現地審査を踏まえ、デザイン委員会委員のうち7名により、表彰物件3件を選出。

## 5 表彰

- 1) 日時：平成30年10月19日（金）15:00～
- 2) 場所：下関市役所本庁舎本館（仮庁舎）1階 市長応接室
- 3) 参加者：受賞関係者9名、デザイン委員会委員1名、前田市長以下  
下関市関係職員7名
- 4) 表彰部門
  - ・建築の保存と活用部門  
学術的・芸術的な価値がある物件、周囲の景観と調和している物件、市民に活用されている物件など
  - ・景観を守り育てる活動部門  
日常の活動を通じて、優れた景観の向上や創出に寄与している活動、美しいまちづくりや景観づくりに寄与している活動など

## 受賞対象



### 【景観を守り育てる活用部門】

#### 勝山ホタルを守る会

（下関市秋根南町二丁目8番）

秋根南町の砂子多川ホタル公園において、かつての農村で見られた「ホタルの飛び交う景観」を、現在の街中に創出することを目指し、ホタル公園で飼育活動を続け、平成19年からホタル公園横の砂子多川でホタルを鑑賞できるようになっています。今も生育環境保全活動を行っており、これまでの自然景観を育てる活動が評価されました。

（受賞者：勝山ホタルを守る会）

### 【景観を守り育てる活用部門】

#### 勝山三山を守る会

（下関市田倉508-2）

田倉の勝山御殿跡及びこれを取り巻く勝山三山（青山、勝山、四王司山）の山道を維持整備する等、景観を保全する活動を行っており、これまでの自然景観を守り育てる活動が評価されました。

（受賞者：勝山三山を守る会）



### 【建築の保存と活用部門】（奨励賞）

#### 旧殿居郵便局

（下関市豊田町殿居1111-2）

物件の所在地は、豊田町殿居で、明治35年に豊田町殿居村に開局し、大正12年に木造平屋建、一部八角塔2階建局舎へと改築したものです。

昭和52年に山口県指定有形文化財に指定され、平成28年のライトアップ整備により、夜景に大正ロマンの美しいシルエットを鮮やかに描き出しています。

築100年近く保全された建物であり、周辺の景観と調和している点が評価されました。

（受賞者：河田 麟）





# 第10回下関市景観賞 概要

## 1 趣旨

下関市の良好な景観の形成に向けて、「下関市景観条例」に基づき、市民への景観まちづくりに対する関心の醸成、活動者のさらなる意識高揚を図るため、「下関市景観賞」を実施。

## 2 募集対象

下関市内において、次のいずれかの要件を満たすもの

- ①良好な景観を形成している民間の建築物、工作物のうち、原則築造5年以内のもの
- ②良好な景観を形成しているまちなみ、自然環境等

## 3 募集方法及び応募件数

- (1) 募集期間：令和元年(2019年)7月1日(月)～8月13日(火)
- (2) 募集広報：市ホームページ、市報6月号、Facebook、ラジオ広報(カモンFM)
- (3) 応募件数：36件

## 4 選考

- (1) 選考者：下関市景観審議会デザイン委員会委員(9名)
- (2) 選考対象：29件(応募件数のうち、対象外を除いたもの)
- (3) 選考方法
  - ①書面審査(8月26日(月)～9月19日(木))  
選考対象についてデザイン委員会委員による書面審査を実施。  
各部門で得票数の多かったもの(計4件)を現地審査対象として選定。
  - ②現地審査(10月4日(金)9:00～14:00)  
対象4件について、デザイン委員会委員のうち7名が現地審査。
  - ③最終審査(10月4日(金)14:15～15:00)  
現地審査を踏まえ、デザイン委員会委員のうち7名により、表彰物件3件を選出。

## 5 表彰

- (1) 日時：令和元年11月19日(火)10:00～
- (2) 場所：下関市役所本庁舎本館(仮庁舎)1階 市長応接室
- (3) 参加者：受賞関係者6名、デザイン委員会委員5名、前田市長以下下関市関係職員8名
- (4) 表彰部門
  - ・建築部門(新築)  
学術的・芸術的な価値がある物件、周囲の景観と調和している物件など
  - ・風景・まちなみ部門  
自然と調和した景観を保っている農山漁村の集落、周辺の景観と調和するように垣・門・花壇等を設けた区域など

## 受賞対象



### 【建築部門(新築)】

The Learning Station CROSSLIGHT(梅光学院大学北館)  
(下関市向洋町一丁目1番1号)

外観は、大きくせり出したバルコニーが強い印象を与えます。館内は、教室、廊下等の空間を完全に仕切ることなく、開放的、流動的な空間を産み出しています。多様な形態の教室、自由に配置できるさまざまな机や椅子類などフリーアドレスオフィスの様々な意欲的な試みが導入されています。

設計の計画段階から、学生、教員、職員等の参画もあって、活発な交流が実現されるよう考慮され、建築空間全体が学校活動に効果的に活用されていく雰囲気有している点が評価されました。

(受賞者：学校法人梅光学院)



### 【風景・まちなみ部門】

吉見古宿町から見た賀茂島  
(下関市吉見古宿町)

一見したところ3つの島が並んでいるように見えますが、1つの島です。特に夕日に映える風景が美しく、古くから地域住民に親しまれています。3つの岩山に自生する松は、最近では急速に松枯れが進んでいますが、地域住民が植樹等の保全活動に取り組んでいます。

3連の島の風景が愛され、地域住民によって大切に守られている点が評価されました。

(受賞者：賀茂島の景観を守る会)



### 【風景・まちなみ部門】

小串漁港、小島神社  
(下関市豊浦町大字小串)

岩山の上に建つ神社は、現在、周囲が埋め立てられて、入江状の漁港の一部を形づくっていますが、江戸時代には海に面していました。神社の敷地では夏祭りが行われるなど、地域住民に親しまれ、大事にされています。

岩山の上に趣のある神社が建つ景観は、昔の海岸を想起させ、迫力すら感じさせる点が評価されました。

(受賞者：小串地区自治会連合会)